



瑞雲

学校だより

昭島市立瑞雲中学校

校長 定森 夏子

令和8年 9月 3日

平和や命を守る人に ～判断力や想像力を身に付ける～

校長 定森 夏子

45日間の夏休み、部活動や地域のボランティア活動はもちろん、のんびり休養も含めて良い夏休みになったでしょうか。

3学年が体育館に揃い、2学期を迎えられたことをとても嬉しく思います。もちろん、のんびり過ごしていた夏休みから、また学校が始まるのはちょっと気が重いというのも正直な気持ちでしょう。それでも、特に今回は「この日常があることの嬉しさや、ありがたさ」を強く感じます。夏休み中に熊本では大きな地震がありました。千葉に続き、石川や富山でも豪雨による大きな被害がありました。身近な人が被災されたというご家庭もあるかもしれません。今、ここにいる私たちができることはどんなことでしょうか。被災地の方へのお見舞いと復興を願う気持ちを持ち、災害への備えを見直すことと、毎日を精一杯暮らしていくことではないかと思っています。

また、夏には毎年、「平和や命」について考えます。第二次世界大戦で広島、長崎に原爆が落とされ、日本が終戦を迎えた季節だからです。今の日本や世界の状況の中で平和や命について考えると、大きな矛盾を感じざるを得ません。大人は皆さんに「命を大切に」とよく言います。本当にそう思っていますし、平和が大切だという考えに反対する人もいないでしょう。でも、世界を見るとウクライナとロシア、パレスチナとイスラエル、イランへのアメリカとイスラエルによる攻撃など、各地で戦争や内戦により多くの命が奪われています。故意に命を奪うのは許されないことです。「世界に平和を！そして命を大切に！」と叫ばれている今、この現状は大きく矛盾していると思います。

日本や世界でリーダーの立場にある人はもちろん、大人にはその矛盾を解消する責任があると感じます。これから大人になる皆さんには、矛盾に気づき、より良い解決法を選ぶ賢さを身に付けてほしいと思っています。学校の勉強もその一つですし、本を読んだり、様々なことを体験したりすることで判断する力や想像する力を身に付けて、平和や命を守る賢い大人になってください。

2学期には大きな行事があります。行事は凡事徹底の「一番の見せどころ」です。楽しく大成功させてほしいと思います。そのために、学校内の生活で当たり前のことを当たり前に行っているか自分で振り返ってみましょう。「だれかと一緒なら…」「自分一人くらいなら…」とわがままな行動をしていることはありませんか？瑞雲中生として正々堂々と楽しもうという気持ちをみんながもってください。それができれば必ず大成功します。期待しています。

2学期が始まり、心配なことがある時にはいつでも周りの大人や相談窓口にご相談してください。

【始業式講話より一部抜粋】



生徒の活躍

陸上競技部 第65回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会 兼
第79回東京都中学校陸上競技選手権大会 1年女子走幅跳 第8位

卓球部 昭島市ジュニア(中学生)卓球大会 梨本杯(男子) 優勝
志茂杯(女子) 優勝 準優勝

Nittaku Cup 第6回 小金井市招待卓球大会 女子団体 第5位

VICTAS 杯 第6回 日野招待中学校卓球大会 女子団体 第5位

吹奏楽部 第66回 東京都中学生吹奏楽コンクール B組 金賞

サッカー部 第73回 U15 市民サッカー大会 優勝 (3勝1敗)

女子バスケット部 第73回市民大会 3位



救命救急講習・消防設備点検・特別支援教育研修の実施

瑞雲中学校では年に複数回、養護教諭を中心に様々な緊急時を想定した対応研修を実施しています。今年度も夏休み期間中、消防署の方をお招きし、心肺蘇生法とAEDの使用方法を再確認しました。また、校舎内の消防設備や避難経路についても全教職員(事務・用務・調理員等含む)で実際に校舎内を点検しながら改めて確認しました。

特別支援教育研修では、ずいぶん教室の教員を中心に特別支援教育の理解促進と指導力向上のための講義を毎年実施しており、支援が必要な生徒への理解をさらに深めることができました。これからも教職員一同、安全安心な学校づくりを意識していきます。



ハイツまつりボランティアの様子

7月18・19日(土・日)に毎年恒例のハイツまつりが行われました。瑞雲中の店で販売したカレーうどんはボランティア部が材料を切り、中央委員会を中心に調理・販売をしました。他にもたくさんの生徒が他のお店の手伝いや、アナウンス等のお祭りの運営、事前準備にも参加しました。自分たちのできることを一生懸命に取り組む姿が素晴らしかったです。吹奏楽部も1～3年生による素敵な演奏で会場を盛り上げてくれました。